

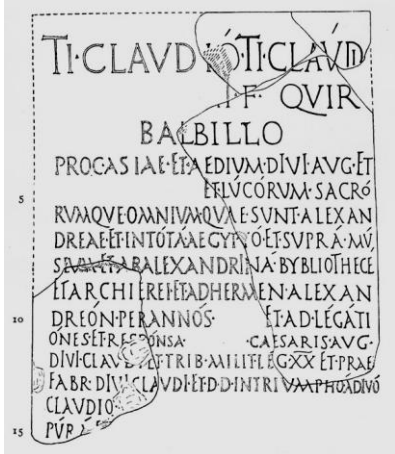
# 図書館のはじまりは??

**世界で最も早くに誕生した図書館**というべきものは古代メソポタミアのバビロニアにおける寺院図書館とも、19世紀にイギリスのレイヤード卿が発掘した紀元前650年頃のアッシリアの主都ニネヴェアに造られたアッシュル・バニパル王の文書館ともいわれています。図書館として機能したという点では、紀元前300年頃、プトレマイオス朝のファラオプトレマイオス1世によって建てられたエジプトのアレクサンドリアの図書館です。図書館には多くの思想家や作家の著作、学術書を所蔵し、蔵書はおよそ70万巻にも及びました。アルキメデスやエウクレイデスら世界各地から優秀な学者が集まった一大学術機関としても知られています。当時はまだ印刷技術がなかったため、蔵書は、ナイル川のデルタで栽培されていたパピルス原料としたパピルス紙に手書きされた巻物が中心でした。アレクサンドリア図書館は写学生を多く抱えており、蔵書を集めるためにアレクサンドリアに入港した船の荷物に書物があれば没収し、写本を作成して原本は図書館に写本は元の持ち主に戻すという手段すらとっていました。



アッシュルバニパルの浮き彫り。腰に2本の葦ペンが挟んである。

**日本での図書館のはじまり**。「古事記」によると王仁(わに)が百済から来朝し、「論語」「千字文」によって文字をもたらしました。その後、伝来し、701年成立の大宝律令によって中務省に図書寮が置かれましたが、図書館と呼べるものではありませんでした。奈良時代には大寺院が建立され、仏書や外国の書物も収蔵されました。これを西洋と対比し寺院図書館とみることもできます。学問を好む貴族も現れ、自分の蔵書を公開するものもあらわれました。その一人である石上宅嗣(いそのかみやかつぐ)の芸亭(うんてい)はわが国初の公開図書館とされています。現在の奈良市立一条高校の東側にあったと伝えられています。



アレクサンドリア図書館に言及したラテン語の碑文。西暦56年のもの。本文の5行目に図書館の名前が記されている。

**図書館の語源** 「ライブラリー」はラテン語のリブラリウム(本箱)に由来します。「図書館」は「易経」(繫辞伝、上)を出典とする「河図洛書」の略である図書と館の合成語で、文庫に代わって明治以降用いられるようになりました。現在では中国でもこれが使われています。

# レファレンスって??

図書館で受けられるサービスの中にレファレンスサービスというものがあるのをご存知ですか?日本語に訳すと参考調査・照会サービスなんていうややこしそうな言葉になってしまいますが、いわゆる『相談サービス』です。

「～について調べるにはどんな資料をみたらいいの?」とか「～について調べるためにはどこに相談すればいいの?」など、『問題を解決するにはどうしたらよいか』という皆様が日常のなかでぶつかる疑問に対しての必要な情報の提供、また研究、学習活動を進めていく際のお手伝いをするサービスです。

ただし、以下のような質問にはお応えできない場合があります。

- ① 他人の生命・名誉・財産等に損害を与え、または社会に悪影響を及ぼすとみられる問題
- ② 医療・健康相談、法律相談、身上相談など専門的判断が伴う問題
- ③ 学校の宿題・課題、懸賞問題等の解答

学校の「総合学習の時間」や宿題・課題のため、毎年多くの学生(生徒)の方々や、そのご両親(?)が図書館に来館されます。それらの課題の解答を直接聞きにこられる方がいらっしゃいますが、図書館では、「学校の宿題・課題・検証問題等の解答はできない」という原則があり、解答そのものをお答えすることはできません。

「～について調べるにはどんな資料を見ればいいのか、その資料は図書館内のどこにあるのか、他にどんなところに行けばいいのか」等、皆さんがその課題解決を進めていく際の疑問などはいくらでもご相談ください。できる限り皆様といっしょに考えながら、お手伝いをしていきたいと思えます。

中央カウンターでも質問をお受けしますが、1階開架書庫入り口左に”レファレンスカウンター(調べもの相談)”のコーナーがあります。ちょっと奥にあるので、気後れしてしまうかもしれませんが、お気軽に声をかけてください。お待ちしております。